



SUPER SHIP (SMOOTH & HIGH POWER SYSTEM スムース&ハイパワーシステム) とは...
従来のSHIPにさらに磨きをかけたSUPER SHIPは、よりパワフルで敏感な巻き上げ、
軽く超スムーズな回転を実現したシステムです。

【スーパー・シップコンセプト】

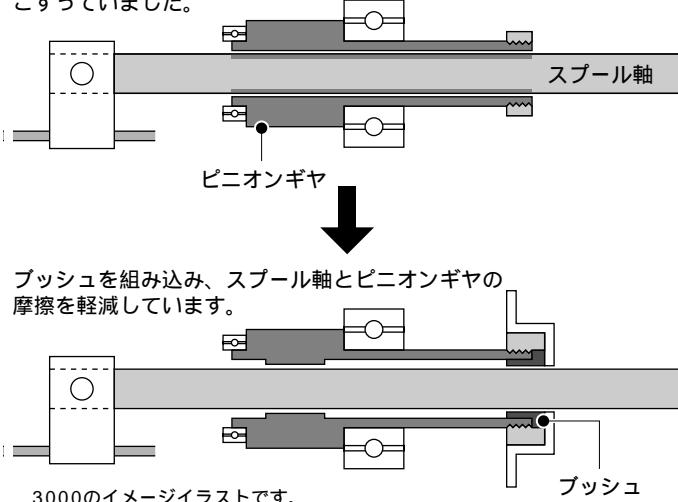
スーパー・シップ

歯の形状を徹底的に研究し開発した大口径マスター・ギヤを搭載しました。
そして独自のカタチを持つ歯面を、ラッピング処理により磨き上げることで、まるで吸い着くように滑らかで、軽い巻き上げが可能になりました。

ハイブリッドアルミボディ
ステラで提唱したテクニウムボディを継承するハイブリッドアルミボディ。スーパー・シップの一一番重要な大型マスター・ギヤを支持する部分と、リールの足部を超高精密アルミニウムで一体化しました。その材質が伝える魚信（高感度）、歪みを徹底排除した剛性が伝えるパワー（高効率）は、従来のリールでは体感できないものです。

フローティングシャフト
ハイパワーのポイントとなるフローティングシャフトは、今までリール回転時にこすっていたスプール軸とビニオンギヤの関係にスプール軸を支えるブッシュを組み込むことにより、摩擦を大きく軽減しています。

従来、ビニオンギヤの内側全体でスプール軸がこすっていました。



3000のイメージイラストです。

3次元曲面ローターシステム

糸巻き形状の調整

糸巻き形状の調整が可能なため、フロロカーボンのような堅い糸でのバックラッシュのトラブルを防止できます。

3次元曲面ローター

フラット化されたラインローラーとベールの接点、アームカムの形状、そしてベール取り付けカムを内側から取付けることにより糸ガラミを防いでいます。

パワーローラーIII

細糸でもヨレない新型のローラーを採用、さらにトラブルの減少を図っています。（下段「パワーローラーIII」の項を参照）

POSITIVE&FRICTION BAIL

ポジティブ&フリクションベール

ベールを開くとカチッというクリック音がしてベール操作がスピーディに行えます。

キャストの時リターンしにくく、適度なフリクションがかかるため、ローターが回転してベールがじやまになりフェザーリング（サミング）の妨げになるのを防止します。

その他の機能

スーパー・ストッパーII（ローラーベアリング1個内蔵）

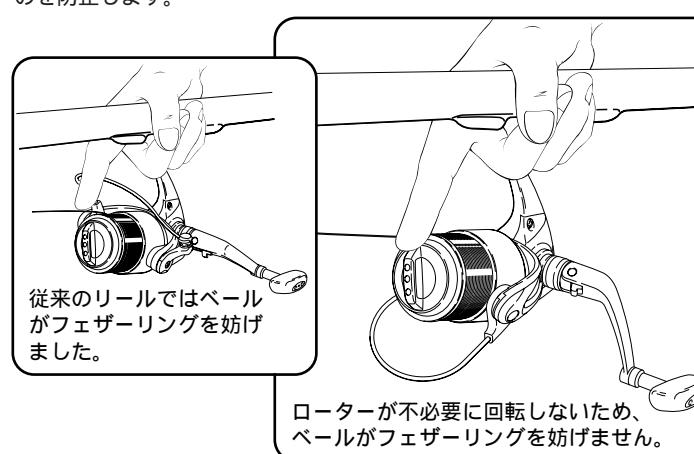
アルミダイキャストスプール

バイオグリップ

ボールベアリング1個内蔵

ロングライフスプリング

チタンコーティングステンレススプールリング



パワーローラーIII

竿の穂先やガイドへの糸がらみなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻きとる時に生じます。

そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻きとる時、糸のヨレを50%解消する新開発「パワーローラー」を採用。

ライントラブルの減少を図りました。 1

（当社比、基準による） 2

1 糸ヨレについて

次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。ご了承下さい。

もともと糸がヨれている時。

ドラグが作動した時。

仕掛けが回転して、ヨリをかけている時。

新しい糸を巻くおり、巻き方が不適切だった時。

非常に軽い仕掛けの巻きとりでローラーが回転しない時。

仕掛けを投げた直後の糸フケを巻きとる時。

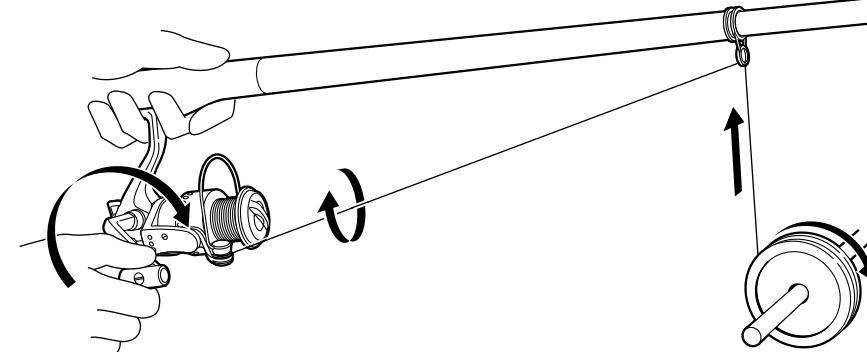
その他、糸にテンションがかからずローラーが回転しない時。

2 当社比、平均50%解消

磯釣、投げ釣、ルアーフィッシングなど異なる釣種の色々な使用条件下（仕掛け、ルアー、巻きとり具合）で1日釣をしたということを想定したテスト（当社品質規格）を行い、従来商品と比較したデータです。平均で50%解消していますが、使用条件によりその効果は多少異なります。

パワーローラーIIIご使用上の注意

「パワーローラーIII」で快適な釣りを楽しんでいただくために、スプールに新しく糸を巻く場合は、下図の要領で糸を巻いて下さい。



図のようにリールを竿に取り付けます。

第1ガイドから糸を通してスプールに結びます。

ドラグの締まっていることを確認して下さい。

糸が巻かれているボビンに割り箸のような軸になるものを通します。

それを誰かを持ってもらい、適度なテンションをかけてボビンを回転させながら糸を巻いて下さい。

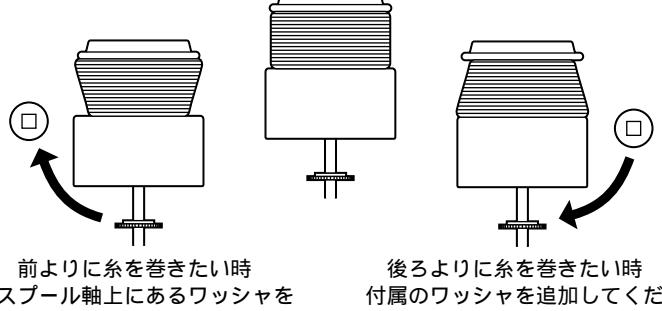
操作方法

糸巻き形状の調整方法

工場出荷時には、最適な糸巻き形状となる様に調整されていますが、付属の調整ワッシャを使用することで、下図のように糸巻き形状を好みに応じて調整することができます。

また、フロロカーボンのような堅い糸でのバックラッシュのトラブルを防止するには、前より糸を巻くようにしてください。

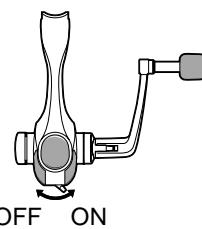
メーカー出荷時
(標準号数 例: 3000・3号)



ストップバーツマミの操作

リール後ろから見てツマミが右に倒れている時(ON)、逆転止めがかかり、ハンドルは正転方向にしか回りません。通常の巻取りやドラグで魚とやりとりする時に使用します。

同様に、ツマミが左に倒れている時(OFF)、逆転止めが解除され、正転、逆転どちらの方向にも回ります。ハンドル逆転による糸の送り出しができます。



ドラグの調整方法

ドラグは、その強弱を調整することによって急激な魚の引きに対し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。

1. 実際に使用される竿に本体をセットし、道糸をガイドに通してください。

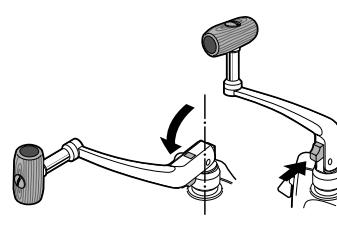
2. ストップバーONの状態で、図のように糸を引き出しながら、ドラグツマミの締めつけを調節してください。ドラグ力は右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。

3. 通常は糸切れを起こす寸前の力でスプールが空転し、糸が出ていくように調節してください。また遠投などする時は、必ずドラグをよく締めつけてから投げるようにしてください。ドラグが滑って糸で手を傷つけることがあります。



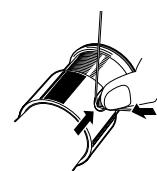
ワンタッチハンドルの折りたたみ方法

ハンドルをたたむ時は、ワンタッチボタンを押して、手前に倒してください。ハンドルをのばす時は、たたむ時と逆にします。



ラインホルダー

とめ方
人差し指でラインホルダーを押さえるようにし、爪の上に糸をすべらしてガイドしながらラインホルダーに糸を引っかけてください。



取りつけ方

スプールをゆっくり回しながら、スプール軸が完全につきぬけるまで入れ、ドラグツマミを時計回りに回して締めつけてください。

